

HDMI端子搭載DVDプレーヤー

reiz RV-SH200

取扱説明書

目次

使用上の注意	2～3
ディスクについて	4～5
製品内容	6
各部の名称	6
リモコンの機能一覧	7

準備する

リモコンを使う	8
HDMI入力端子のある機器とつなぐ	8
付属のAVケーブルでテレビに接続する	8
電源コードをコンセントに接続する	9
電源を入れる	9

再生する

DVDを再生する	10
基本操作	10
ディスクメッセージ	10
MP3 / JPEGファイルを再生する	11～12
ボタン操作について	13
再生/一時停止、停止、頭出し、早送り/早戻し、画面表示、メニュー	13
スロー、A-Bリピート、リピート、ズーム、音声	14
字幕、音量 消音、設定、電源、トレイ開/閉	15

設定する

設定画面を使う	16
設定画面と設定画面の基本操作方法	16
基本設定	16～17
音声設定	17
デジタル	18
映像設定	18
選択	19



外部端子

USB端子とSDスロットを使用する	20
メディアにリッピングする	21～22










その他









故障かな?と思ったら	23
お手入れについて	23
製品の廃棄について	23
主な仕様	24
お問い合わせ	25








使用上の注意 正しく安全にご使用いただくために必ずお読みください

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■本体、電源コードについて

 警告	 コンセントを抜く	火災・感電の原因となりますので、本体や電源コードが異常なとき(煙が出ている、異常に熱い、変なにおいがする)は、ただちにご使用をやめて、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 分解禁止	火災や感電の原因となりますので、絶対に分解や改造等を行わないでください。
	 禁止	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。また、電源プラグに濡れた手で触れないでください。
	 コンセントを抜く	ケガや感電の原因となりますので、お手入れの際は必ず電源コードを抜いてから行ってください。また、雷が鳴っているときは、本体、電源コードに触れないでください。落雷すると、感電する恐れがあります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本製品が破損した場合は、そのままご使用にならず、電源コードをコンセントから抜いてください。
	 注意	本製品を指定された、電源電圧以外でご使用にならないでください。指定以外の電源電圧で使用すると、火災、感電、故障の原因になります。
	 禁止	本製品を水で濡らしたり、水滴のかかる場所に置かないでください。海岸や川岸などの水辺や雨天、降雪時の窓辺でのご使用や設置にはご注意ください。また、風呂場や厨房、サウナなど高温多湿な場所ではご使用にならないでください。内部に水が入ると火災、感電、故障の原因になります。

 注意	 禁止	本体を傾いた場所や不安定な場所に設置しないでください。本体が落下して、破損やケガをする原因になります。
	 禁止	本体の内部に異物を入れないでください。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。また、本製品を乳幼児には触れさせないでください。故障や火災、感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	火災や感電の原因となりますので、本体内部に水や異物が入ったときは、ただちにご使用を中止し、電源コードをコンセントから抜いてください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
	 禁止	本体を持ち運ぶときは、過度の衝撃や振動を与えないでください。故障や破損の原因になります。
	 禁止	電源コードを傷つけたり、破損、切断、加工をしないでください。また、電源コードを束ねたり、延長、固定、タコ足配線で使用しないでください。発熱などにより、火災、故障の原因になります。電源コードが傷ついている場合は、ただちにご使用をやめてください。火災や感電の原因になります。
	 コンセントを抜く	本製品を移動させるときは、ディスクを取り出し、電源コードをコンセントから抜いてください。また、長期の外出をするときや長期間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災などの原因となります。
	 注意	リモコンの電池は極性の向きを正しく入れてください。誤って入れると、破裂、液漏れの原因になります。また、電池を加熱、分解すると破裂する危険があります。

 注意	 <small>禁止</small>	<p>本製品の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に設置しないでください。閉めきった車内や、直射日光に当たる場所に設置、放置しないでください。本体内部が高温になり故障の原因となります。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>走行中、運転されている方は危険ですので、絶対に本製品の操作等をしないでください。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>通電中の本機や電源コードに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになると、低温やけどの原因となることがあります。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>本機や電源コードを、布や布団などでおおった状態で使用しないでください。熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。</p>
	 <small>禁止</small>	<p>本体内部の部品をさわらないでください。けがの原因になることもあります。また、高温になった部品にさわると、やけどの原因となることがあります。ケースなどの外装部品が破損しても本体内部の部品には触れないでください。高電圧部品により感電することがあります。</p>
	 <small>分解禁止</small>	<p>分解や改造をしないでください。火災や感電の原因となります。点検や修理は、お買い上げ店、または弊社サポートセンターにご依頼ください。</p>

ディスクについて

●再生できるディスクについて

ディスクの種類

- 市販/レンタルディスク
- 記録ディスク
- DVD-VIDEO
- DVD-R/-RW(ファイナライズ済ディスク)
- DVD+R/+RW(ファイナライズ済ディスク)
- ビデオCD/音楽用CD
- CD-R/-RW

●CD/DVDについてのご注意

本機は以下のフォーマットで記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生できます。

- 音楽用CDフォーマット
- ビデオCDフォーマット
- ISO9660 レベル1/Joliet準拠のMP3音声トラック
- JPEG画像ファイル

本機は以下のフォーマットで記録したDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW/DVD+R/DVD+RWを再生できます。

- DVD-VIDEO
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット)準拠のMP3音声トラック、JPEG画像ファイル

本機は録画したデジタル放送の番組を再生できる、CPRM[★]に対応しています。

- DVDに記録した地上デジタル放送やBSデジタル放送は、著作権保護のためCPRM対応プレーヤーでなければ再生できません。
- ★CPRM(Content Protection for Recordable Media)とは、録画回数に制限がある番組に対する著作権保護技術です。

●再生できないディスクについて

本機では以下のディスクなどを再生することはできません。

- Blu-ray ディスク
- AVCHD記録ディスク
- HD DVD
- DVD-RAM/DVD+R DL/DVD-R DL
- フォトCDフォーマットで記録したCD-ROM
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVDオーディオ
- MP3/JPEG画像を含まないデータDVDおよびデータCD
- スーパーオーディオCDのHD(ハイデンシテイ)レイヤー
- このページで記載のフォーマット以外で記録したCD-ROM/CD-R/CD-RW

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できないリージョンコード(地域番号)の市販のDVD
- 円形以外の特殊な形状(カード型・ハート型など)をしたディスク
- 紙やシールの貼られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出たり、はがした痕のあるディスク
- 傷の多いディスク

●再生時のご注意

記録済みのCD-R/-RW・DVD-R/-RW・DVD+R/+RWは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器、CD/DVD書き込みソフトの特性が原因で再生できない場合があります。

データ再生に関しては、エンコード方法などによって再生できないものもあります。

記録型DVDの記録終了時に終了情報を記録する「ファイナライズ」作業を行っていないディスクは再生できません。(詳しくはレコーダー等の取扱説明書をお読みください)

記録型メディアによっては、適切にファイナライズ作業が行われていても本機のいくつかの再生機能が使えなかったり、ディスクが正常に再生できない場合があります。また、バケットライト方式およびマルチセッションで作成されたデータCD/データDVDには、再生できない場合があります。

本製品はコンパクトディスク(CD)規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として設計されています。いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものがあり、本製品では再生できない場合があります。

DVD規格に準拠した面と、音楽専用面とを組み合わせたDual Discの音楽専用面は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本製品での再生は保証いたしません。

Blu-ray/DVDハイブリッドディスクは、記録方式が従来のDVD規格とは異なるため、本製品での再生は保証いたしません。

●DVD、ビデオCD再生時の操作について

DVD、ビデオCDはソフト作者の意図により再生状態があらかじめ決められていることがあります。本機ではソフト作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属する取扱説明書も必ずご覧ください。

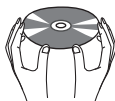
●リージョンコード(地域番号)について

リージョンコードは著作権保護を目的に設けられた制度です。市販のDVDビデオのパッケージには、販売地域によって、リージョンコードが表示されています。地域番号に「ALL」、または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。



●ディスクの取扱いについて

- 再生面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当たるところなど、温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。
- 指紋やほこりなどによるディスクの汚れは、映像・音声の乱れの原因となります。取扱いには十分ご注意ください。
- ディスクのお手入れは、ディスクの取扱説明書等をご覧ください。
- ディスクを絶対に曲げないでください。破損や変形の原因となり、再生できなくなる場合があります。

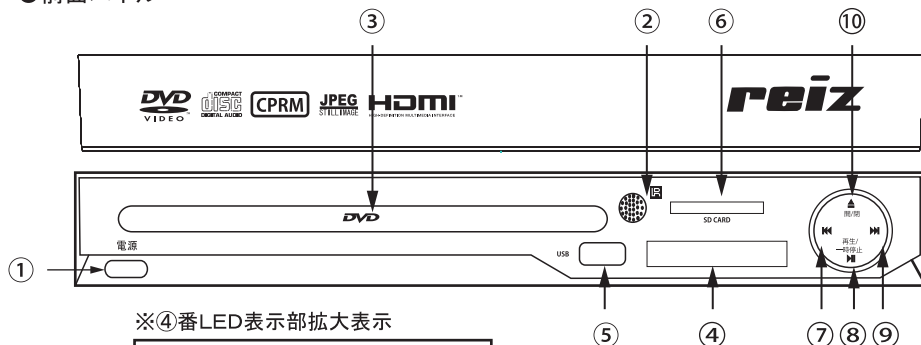


製品内容

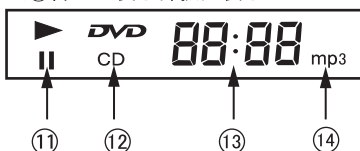
- ・ DVDプレーヤー本体
- ・ AVケーブル(音声・映像)
- ・ 取扱説明書 兼 保証書 (本書)
- ・ リモコン
- ・ 単四形乾電池(試供品) 2本
- ・ HDMIケーブル 1本

各部の名称

●前面パネル

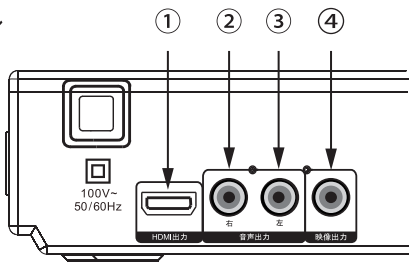


※④番LED表示部拡大表示



- | | |
|--------------|-------------------|
| ① …… 電源スイッチ | ⑧ …… 再生/一時停止ボタン |
| ② …… リモコン受光部 | ⑨ …… 次へボタン |
| ③ …… ディスクトレイ | ⑩ …… トレイ開閉ボタン |
| ④ …… LED表示部 | ⑪ …… 再生/一時停止状態表示 |
| ⑤ …… USB端子 | ⑫ …… ディスク種類表示 |
| ⑥ …… SDスロット | ⑬ …… 動作状態及び再生時間表示 |
| ⑦ …… 前へボタン | ⑭ …… MP3ファイル再生表示 |

●背面パネル



- ① …… HDMI出力端子
- ② …… 右音声出力端子
- ③ …… 左音声出力端子
- ④ …… 映像出力端子

※接続方法については、8ページをご参照してください。

リモコンの機能一覧

電源 電源オン/オフする(スタンバイ状態になります)
開/閉 ディスクトレイの開閉を行う

前へ 前のチャプターやトラックを移動します
再生/一時停止 再生開始と再生の一時停止をすることができます
次へ 次のチャプターやトラックを移動します

早戻し 早戻し再生をすることができます
停止 再生している状態から停止状態にすることができます
早送り 早送り再生をすることができます

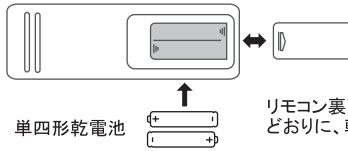
メニュー ディスクのメニュー画面を表示します
画面表示 再生中のディスク情報を表示します
上、下、左、右方向 上、下、左、右カーソルを移動することができます
決定 操作や設定を決定します
設定 設定の確認や各種設定を変更することができます
音声 音声やサウンドトラックを切替えることができます

メディア 再生するメディアを切替えることができます
リピート 繰り返し再生することができます
音量+ 音量調整することができます
ズーム 画面を拡大/縮小します
A-B 設定範囲を繰り返し再生することができます

スロー スロー再生することができます
字幕 字幕の選択をすることができます
リップング 音楽CDのデータをUSBメモリー及びSDメモリーにMP3ファイルに変換し、記録します
消音 音声を消すことができます

準備する

リモコンを使う



リモコン裏面のカバーを取り外して、単四形乾電池2本を電池収納部の指示どおりに、乾電池の方向を確認して差し込み、カバーを取り付けます。

■ご注意ください

- ・リモコンを使用する場合は、本体の受信部に向けて操作してください。
- ・使用範囲は本体受信部正面から約5m、左右各30度以内で使用してください。
※操作可能範囲は使用状況により変わります
- ・本体受信部に直射日光や強い照明が当たった場合、受信部が破損し、受信できなく恐れがありますので、ご注意ください。
- ・リモコンを投げる、落とすなど過度の衝撃を与えないでください。
- ・リモコンを水に濡らしたり、湿度の高いところでは、使用、保管をしないでください。
- ・乾電池を入れ替えたときに、リモコンが正しく動作しないときがあります。このようなときは、乾電池を一度取り出し、5分以上経ってから再度入れ直してください。
- ・リモコンを分解、改造、修理をしないでください。また他の機器には使用しないでください。

HDMI入力端子のある機器とつなぐ

HDMIケーブルを使って、HDMI入力端子があるテレビに接続できます。1本のケーブルで音声と映像を劣化のないデジタル信号で出力します。接続する機器やテレビにあわせて、HDMI関連設定等を設定してください。詳しくは接続する機器やテレビの取扱説明書をご覧ください。なお、変換アダプターなどを使ってDVI機器に接続すると正しく動作しない場合があります。

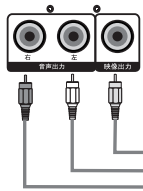
●接続方法



■ご注意下さい

- ・HDMIケーブルの性能が悪いと正常に、映像や音声、テレビやモニターに正常に表示や出力されません。販売店でお求めになる場合は、ご注意下さい。
- ・本機側のコネクタが「TYPE A」型です。
- ・付属のHDMIケーブルを、他機器で使用する場合は、特性が合わない場合があります。
- ・本機器以外で付属のHDMIケーブルをご使用する場合は、ご注意下さい。

付属のAVケーブルでテレビに接続する



- 赤色・・・「右」端子へ差し込む
- 白色・・・「左」端子へ差し込む
- 黄色・・・「映像出力」端子へ差し込む



音声・映像入力端子に差し込む
(接続する機器の取扱説明書をご覧ください)

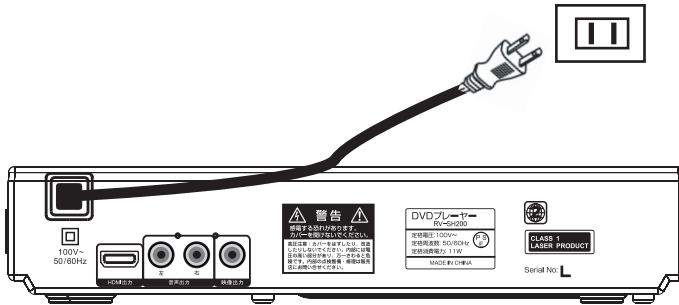
■ご注意ください

- ・テレビと接続する際は、必ず本製品とテレビの電源を切ってから行ってください。
- ・端子は奥までしっかり差し込んでください。映像や音声 normally 再生できない場合があります。

電源コードをコンセントに接続する

本機の電源プラグをコンセントに挿し込みます。

※AC100V(50/60Hz)



■ご注意ください

- 電源コードや他の接続ケーブルは、テレビなどのアンテナ線からできるだけ離してご使用ください。機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音の原因となることがあります。
- 日本国内専用セットです、海外などで異なる電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。
- 長期使用されない場合は、本体の電源プラグをコンセントから外すようにしてください。

電源を入れる

本体の電源コードをコンセントに挿し込むことにより、通電することができます。

- コンセントに挿し込み、本体とリモコンの電源ボタンを押すと電源が入り、前面ディスプレイが順次「HI」、「LOAD」、「NOdS」と表示します。

HI ▶ LOAD ▶ NOdS

本体とリモコンの電源ボタンを押し、スタンバイモードに切替えることができます。

- 電源をオフにする
スタンバイモードになります。
前面ディスプレイが順次「OFF」、「:」と表示します。

OFF ▶ :

- 電源をオンにする
電源がスタンバイモードから復帰する。
前面ディスプレイが順次「HI」、「LOAD」、「NOdS」と表示します。

HI ▶ LOAD ▶ NOdS

再生する

DVDを再生する

●基本操作

- 1) 本体の電源を入れます。
- 2) トレー開閉ボタンを押して、トレーを出します。
- 3) トレーの凹みに合わせて、ディスクのラベル印刷面を上にして、ディスクをやさしく置きます。
- 4) トレー開閉ボタンを押して、トレーを閉じると、自動的にメニュースクリーンの再生を開始します。
 - ※ ディスク面が間違っていたり、トレーの凹みにきちんと置いていない場合は、“ディスク無し”と表示されます。
 - ※ ディスクによっては、自動的に再生しないものや、メニュースクリーンが再生されないものがあります。
- 5) 決定ボタン、または再生ボタン(▶II)を押すと再生が始まります。ディスクによっては自動的に再生が始まります。

画面にDVDメニューが表示された場合、リモコンの矢印キーで、お好みのメニューに合わせ、決定ボタンを押します。



■ご注意ください

- ディスクの再生中などに本製品の電源を切るときは、必ず停止ボタン(■)を2回押して、ディスクが完全に停止していることを確認してから電源を切ってください。
- 電源コードは、電源を切った状態を取り外してください。
- ディスク回転中に突然電源を切ると本体内部の破損の原因となりますので、十分ご注意ください。
- 操作中、“○”マークの表示が画面に出る場合は、本製品またはディスク側で操作が禁止されていることを意味します。
- ディスクの再生中にメニュー画面が表示されたり、操作内容が表示されたときは、表示の指示に従って操作してください。
- ディスクトレイが開いている時に、ディスクトレイを強い力で押したり、衝撃を加えるとディスクトレイの故障の原因となります。

●ディスクメッセージ

下記メッセージが画面上に表示された場合は、再生ディスクとフォーマット形式が異なることが予想されます。

- リージョンエラー
本機が再生できる地域(リージョン)“2”と違うディスクを再生しようとした場合に表示されます。
リージョンコード“2”、または、“ALL”以外のディスクは再生できません。
- ディスクエラー
本機はディスクの品質を自動的に検出する機能があります。本機が、傷や破損などダメージを受けたディスクを検出した場合、画質が乱れたり、完全に停止してしまう恐れがあります。その際に、画面に「ディスクエラー」と表示されます。

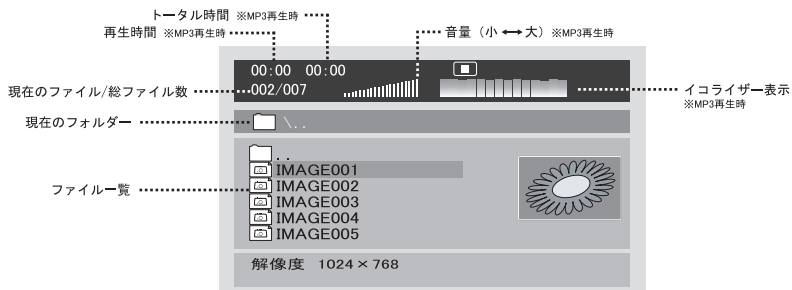
■ご注意ください

- DVDディスクによっては、再生中、操作制限があったり、再生できないディスクもあります。
- 本機は全てのディスクの再生能力に対して責任を負いません。記録条件によって再生できない場合があるため、本機の不良ではございません。再生されるディスクの説明書をご参考ください。
- 記録型ディスクの場合、記録品質が重要です。ディスクを記録する機器の記録品質の確認をお願いします。

MP3 / JPEGファイルを再生する

本機では、データCD (CD-ROM/CD-R/CD-RW) やデータDVD (DVD-ROM/DVD-R/DVD+R/DVD-RW/DVD+RW) に記録されている、MP3ファイルやJPEGファイルを再生できます。また、USBメモリー、SDカードに記録されているMP3、JPEGファイルも同様に再生することができます。データCDやデータDVDを入れると、プレイリストが表示されます。

● JPEGファイルを再生する



・ 表示したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルが表示され、スライドショーが始まります。

フォルダーを移動する場合は、ファイル一覧の“ □ . . ”やフォルダーを選択し「決定」ボタンを押します。

・ JPEGファイル再生中に使用できるボタン



方向ボタン、決定ボタン

→ ファイル一覧表示ではフォルダーやファイルの選択をします。

再生/一時停止



再生/一時停止ボタン

→ 選択したファイルを再生/一時停止します。

停止



停止ボタン

→ 再生を一時停止します。2回押すと停止します。

前へ



頭出し(前)ボタン

→ 再生中のファイル先頭から再生します。

次へ



頭出し(次)ボタン

→ 次のファイルを再生します。



リピートボタン

→ 14ページをご覧ください。



ズームボタン

→ 14ページをご覧ください。

メニュー



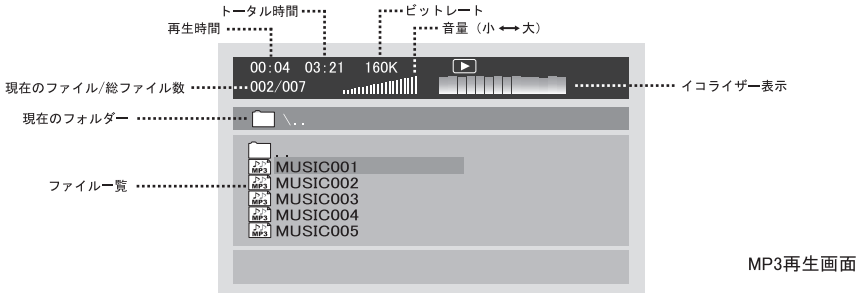
メニューボタン

→ 13ページをご覧ください。

■ ご注意ください

- ・ JPEGファイルは、記録されたファイル数やサイズによって読み込みに時間がかかる場合があります。
- ・ ファイルの作成方法などによって、再生できないファイルがあります。
- ・ ファイルは記録された順に表示されます。
- ・ MP3 PROで記録された音声、および動画ファイルは再生できません。
- ・ 日本語のファイル名や長いファイル名は正常に表示されない場合がございます。

● MP3ファイルを再生する



・再生したいファイルの選択方法

上・下方向ボタンでファイルを選択し、「決定」ボタンを押すと選択したファイルが再生されます。フォルダーを移動する場合は、ファイル一覧の“ □ .. ”やフォルダーを選択し「決定」ボタンを押します。

・MP3ファイル再生中に使用できるボタン



方向ボタン、決定ボタン
→ フォルダーやファイルの選択をします。



再生/一時停止ボタン
→ 選択したファイルを再生/一時停止します。



停止ボタン
→ 再生を一時停止します。2回押すと停止します。



頭出し(前)ボタン
→ 再生中のファイル先頭から再生します。



頭出し(次)ボタン
→ 次のファイルを再生します。



早送りボタン
→13ページをご覧ください。



早戻しボタン
→13ページをご覧ください。



リピートボタン
→14ページをご覧ください。



消音ボタン
→15ページをご覧ください。



音量ボタン
→ 音量を調整します。
→15ページをご覧ください。

ボタン操作について

●再生/一時停止ボタン



再生/一時停止
ディスクの再生、場面や曲の一時停止に使用します。ディスク停止中にこのボタンを押すと再生を開始し、もう一度押すと一時停止します。一時停止中はディスクが回転しています。

●停止ボタン (リモコンのみ)



停止
停止ボタンを一度押すと、一時停止になります。二回押すと完全に停止します。
ラストメモリー機能を使用する場合は、停止ボタンで一時停止させて電源を切ってください。

■ご注意ください

- ・ラストメモリー機能が有効なのはDVD-Videoです。録画されたDVDやCDなどは対応しません。
- ・DVDディスクによっては、操作制限等があり、正常に動作しない場合があります。

●頭出し(次)ボタン



次へ
次のチャプター、トラックへ移動します。

●頭出し(前)ボタン



前へ
チャプターやトラックの先頭へ移動します。チャプターやトラックの先頭の場合、前のチャプターやトラックに移動します。

■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- ・シングルチャプター、シングルトラックのディスクは頭出し機能は使用できません。

●早送り/早戻しボタン (リモコンのみ)



早送り
再生 → 早送り × 2 → 早送り × 4 → 早送り × 8 → 早送り × 16 → 早送り × 32
※2倍速早送り時には再生音も2倍速で出力されます。



早戻し
再生 → 早戻し × 2 → 早戻し × 4 → 早戻し × 8 → 早戻し × 16 → 早戻し × 32

※通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押すか、早送り/早戻しボタンを押して戻します。

■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては操作制限があり、操作できない場合があります。
- ・早送り、早戻し中は音声出力されません。

●画面表示ボタン (リモコンのみ)



画面表示
このボタンを押すと、再生中のディスクの内容、再生状態、設定内容が表示されます。

●メニューボタン (リモコンのみ)



メニュー
このボタンを押すと、DVDのメニュー画面が表示されます。ディスクによっては、この操作が制限されている場合があります。

●スローボタン (リモコンのみ)

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の速度で再生されます。
通常の再生速度に戻す場合は、再生ボタンを押してください。

スロー

再生 → スロー × 1/2 → スロー × 1/4 → スロー × 1/8 → スロー × 1/16 →



■ご注意ください

- ・スロー再生中は音声出力されません。

●A-Bリピートボタン (リモコンのみ)

A-B

設定範囲(AからBまで)を繰り返し見たり、聴いたりすることができます。

1. 映像や音楽を再生中、繰り返し見たいシーンや聴きたい位置で、リモコンの「Aリピート」ボタンを押し、画面上に“A”と表示させ、開始位置を設定します。
2. 終了位置で、もう一度「Aリピート」ボタンを押すと、画面上に“AB”と表示され、指定の範囲で繰り返し再生します。
3. 「Aリピート」ボタンを押すと、設定範囲をキャンセルできます。また、停止ボタンを押したり、電源が切れると、設定範囲がクリアされます。






■ご注意ください

- ・部分リピート再生は同一タイトル内で設定してください。
- ・部分リピート再生はマルチアングル部分では動きません。
- ・ディスクによっては操作制限があり、この操作ができない場合があります。

●リピートボタン (リモコンのみ)

リピート

特定のタイトル、チャプター、トラックを繰り返し再生することができます。

- ・DVD再生中
オフ → チャプター → フォルダー → オール
- ・CD/VCD再生中
オフ → トラック → オール
- ・MP3ファイル再生中
リピート オフ → シングルリピート → フォルダーリピート
- ・JPEG画像ファイル再生中
オフ → シングルリピート → フォルダーリピート

■ご注意ください

- ・DVDディスクによっては操作制限があり、この操作ができないものもあります。
- ・CDやMP3、JPEG画像データは、記録状態によって、この操作ができない場合があります。

●ズームボタン (リモコンのみ)

ズーム

ディスクの再生中にこのボタンを押すごとに、下記の順で画面を拡大、縮小します。

- ・DVD再生の場合
再生 → ズーム×2 → ズーム×3 → ズーム×4 → ズーム×1/2 → ズーム×1/3 → ズーム×1/4
↑
- ・JPEG再生の場合
ズーム 100% → ズーム125% → ズーム150% → ズーム200% → ズーム75% → ズーム50%
↑

●音声ボタン（リモコンのみ）

音声



DVDディスクによっては音声、サウンドトラックが複数のチャンネルで記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、それらのチャンネルを切り替えることができます。

■ご注意ください

- この機能はDVDディスクに記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があり、再生中、この操作ができない場合があります。

●字幕ボタン（リモコンのみ）

字幕

リップリング

DVDディスクによっては字幕が記録されているものがあります。このボタンを押すことによって、字幕の選択をしたり、消したりします。

■ご注意ください

- この機能はDVDディスクに記録されていなければ使用できません。
- ディスクによっては、DVDのメニュー画面のみで設定可能な場合があり、再生中、この操作ができない場合があります。
- ディスクによっては、複数の言語が記録されている場合があります。

※音楽CDをMP3フォーマットにリップリングすることができます。詳しくは、20～21ページをご覧ください。

●音量(+/-)ボタン（リモコンのみ）

音量+

音量-

本機から出力する音量を調整します。

■ご注意ください

- 本機の出力音量が小さいと、テレビから出力される音声も小さくなるのが考えられます。
- 本機とテレビの音量を操作して適量の音声でお楽しみください。

●消音ボタン（リモコンのみ）

消音

音声を消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●設定ボタン（リモコンのみ）

設定



このボタンを押すと、設定画面を呼び出します。詳しくは、16ページをご覧ください

●電源ボタン

電源



スタンバイモードに切替することができます。

●トレイ開/閉ボタン

開/閉



ディスクトレイを開閉することができます。

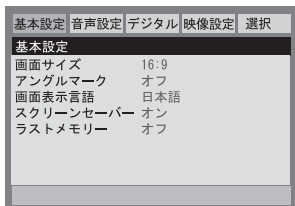
設定する

設定画面を使う

●設定画面と設定画面の基本操作方法

「設定」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

設定画面

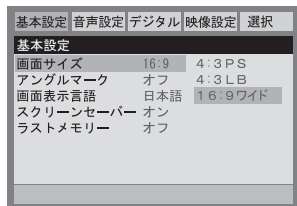


設定画面の基本操作方法

- ・リモコン、または本体の「上・下・左・右方向」ボタンと「決定(OK)」ボタンを使用します。視聴制限の設定では、数字ボタンも使用します。
- ・「左・右方向」ボタンで設定項目を選択し、「下方向」ボタンで各項目の内容の設定に移ります。
- ・各項目の設定は「右方向」ボタンで選択します。
- ・設定画面を終了するには「設定」ボタンを押します。

●基本設定

画面サイズ



接続するテレビの画面の種類を設定します。

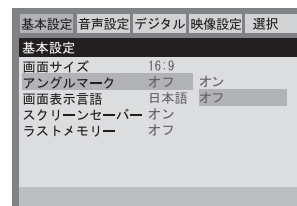
ワイドテレビ(16:9)、または、従来のテレビ(4:3)から選択します。

16:9(ワイド映像)・・・ワイドテレビでワイド映像を再生するとき、画面いっぱい映像を再生します。実際に映し出される映像は、ワイドテレビのスクリーンモードの設定に依存します。

4:3PS(パンスキャン)・・・ワイド映像のディスクを映像の左右をカットした状態で再生します。

4:3LB(レターボックス)・・・ワイド映像を従来のテレビに出力再生するときに、上下に黒い帯をつけて再生します。

アングルマーク



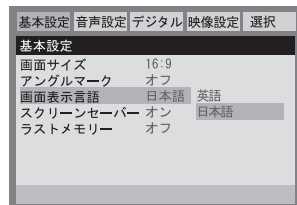
■ご注意ください

- ・設定を変更する場合、必ず停止状態で行ってください。
- ・ディスクや記録状態によって設定できない場合があります。

アングル情報が書き込まれたDVDビデオを再生したとき、画面に常にアングルマークを表示させるか設定します。

アングルマークを表示してなくても、アングル機能はご使用いただけます。

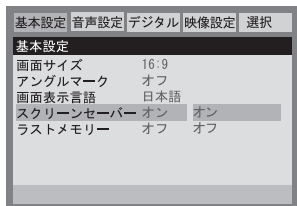
画面表示言語



設定画面の表示言語を設定します。

日本語、または英語(English)が選択できます。

スクリーンセーバー

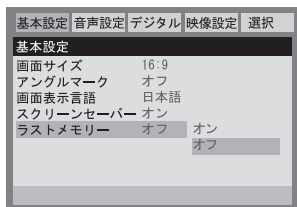


スクリーンセーバーと自動電源停止機能を設定します。本機が停止状態で一定時間経過すると、自動的にスクリーンセーバーが作動します。

■ご注意ください

- ・DVDディスクによってはメニュー画面などでスクリーンセーバーが作動しない場合があります。

ラストメモリー



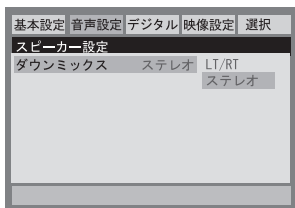
前回電源を切ったところから再生を開始します。DVDビデオ再生中に停止ボタンを押して、電源を切るとラストメモリー機能が有効になります。ディスクを取り出すとラストメモリー機能が働かない場合がございます。

■ご注意ください

- ・ディスクによっては正常に作動しない場合があります。

●音声設定

ダウンミックス



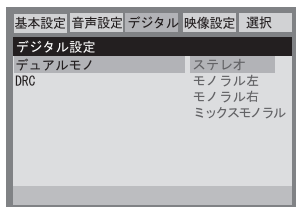
リアスピーカーの音声チャンネルを含むドルビーデジタルで記録されているDVDを2チャンネルに変換して再生します。

LT/RT・・・リアスピーカーの音声チャンネルの左右を混ぜて、モノラルにしたものをフロントの左右にそれぞれ逆相でミックスします。

ステレオ・・・リアスピーカーの左チャンネルをフロントスピーカーの左チャンネルにミックスし、リアスピーカーの右チャンネルをフロントスピーカーの右チャンネルにミックスします。

●デジタル

デュアルモノラル



二カ国語放送など、音声多重で記録された番組などの音声を切り替えます。

ステレオ・・・主音声、または、主音声／副音声

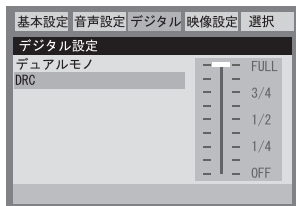
モノラル左・・・主音声

モノラル右・・・副音声

ミックス・・・主音声／副音声

「ステレオ」でスピーカーから別々の音声が同時に聞こえる場合は、「モノラル左」が「モノラル右」を選択してください。（番組によって切替ができない場合があります）

ダイナミックレンジ

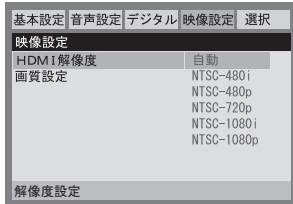


ドルビーデジタル再生時に、音量を平均化し聞きやすくする機能です。

「上・下方向」ボタンで選択します。

●映像設定

HDMI解像度



HDMI接続時の出力解像度を設定します。

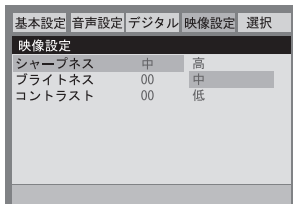
使用するモニターやテレビの解像度の仕様を確認の上設定ください、「自動」を選択するとモニターやテレビに合わせて自動設定されます。

■ご注意ください

- ・本機の出荷設定は自動に設定されています。
- ・御使用するモニターやテレビの仕様を確認の上、本設定してください、テレビやモニターの仕様と本機の設定が合わない場合、正常に表示されません。

画質設定

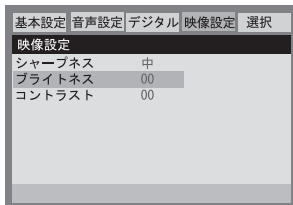
シャープネス



映像のシャープネスを設定します。

“高”、“中”、“低”から「上・下方向」ボタンで選択します。

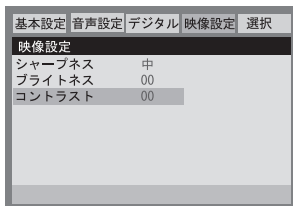
ブライトネス



映像のブライトネスを設定します。

「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。大きい数字ほど明るくなります。

コントラスト

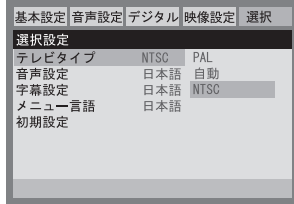


映像のコントラストを設定します。

「左・右方向」ボタンで数字を選択して調整します。

● 選択

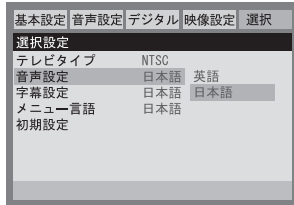
テレビタイプ



テレビタイプを設定します。

通常は「NTSC」が「自動」に設定してください。

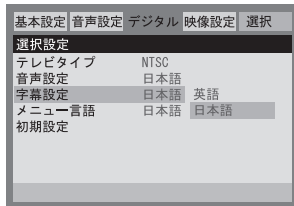
音声言語



音声の言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

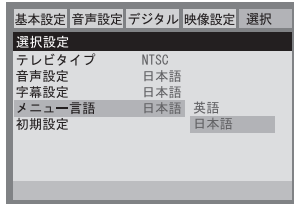
字幕言語



字幕の言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

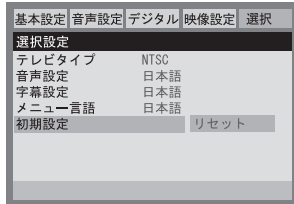
メニュー言語



DVDメニューの言語を設定します。

ディスクによって設定できる言語、できない言語があります。詳しくはDVDディスクの取扱説明書をご覧ください。

初期設定



設定すべてを工場出荷時設定に戻します。

“リセット”にカーソルを移動し、「決定(OK)」ボタンを押すと、設定が工場出荷時の状態に戻ります。

外部端子

USB端子を使用する

USB端子を使用して、USBフラッシュメモリーから音声・画像を再生することができます。

●接続方法



■ USBフラッシュメモリー

■ USBフラッシュメモリーからの再生に切り替える

- 1.USBフラッシュメモリーを差し込みます。
- 2.「DVD/SD/USB」ボタンを押し、USBに切り替えます。

■ USBフラッシュメモリーを取り外す場合は、下記の状態にしてから行ってください。

- MP3ファイル再生中の場合
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。
- JPEGファイル再生中の場合
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからUSBフラッシュメモリーを取り外します。

SDスロットを使用する

SDスロットを使用して、SD（以下、メモリーカード）から音声・画像を再生することができます。

●接続方法



■メモリーカード

■メモリーカードからの再生に切り替える

- 1.メモリーカードを差し込みます。
- 2.リモコンの「DVD/SD/USB」ボタンを押し、カードに切り替えます。

■メモリーカードを取り外す場合は、読み込みをしていない時に抜いて下さい。

- MP3ファイル再生中の場合
「停止」ボタンを押して、再生を停止させてからメモリーカードを取り外します。
- JPEGファイル再生中の場合
「メニュー」ボタンを押して、ファイル一覧画面にしてからメモリーカードを取り外します。

■ご注意下さい

- ・USBフラッシュメモリー、メモリーカードにアクセスしているときは、取り外しを行わないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・本機に搭載されているUSB端子は、USBフラッシュメモリーのみ対応します。他の機器を接続すると本機や外部機器の故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。
- ・USBフラッシュメモリーやメモリーカードによっては対応できないものもあります。

メディアにリッピングする

音楽 CD のデータをUSBメモリー /SD カードにMP3ファイルに変換し、記録します。

予め、変換したいの音楽 CD ディスクをトレイにセットし、保存先となるUSBメモリー /SD カードを差し込みます。

リモコンの「リッピング」ボタンを押すと下記の画面が表示されます。

● リッピング設定

トラック選択エリア

Cd Rip	
Options	Track
Speed Normal	Track01 05:24
Bitrate 128Kbps	Track02 05:44
Create id3 Yes	Track03 04:04
Device USB	Track04 04:33
	Track05 04:14
	Track06 04:25
	Track07 03:41
Summary	
Selected Track 0	
Selected Time 00:00	
Start	Exit
Select all	Select none

リッピング開始 リッピング終了 全選択 全クリア

Speed Normal/fast
リッピング速度(ノーマル/高速)を選択する。

Bitrate 128Kbps/192Kbps/256Kbps/320Kbps
/96Kbps/112Kbps
MP3ファイルの転送レート(ビットレート)を選択する。

Create id3 Yes/No
ID3タグの有無を選択する。



リモコンの方向ボタンで各設定項目を選択し、決定ボタンで確定します。

● リッピング先(メディア)選択

Cd Rip	
Options	Track
Speed Normal	Track01 05:24
Bitrate 128Kbps	Track02 05:44
Create id3 Yes	Track03 04:04
Device オフ	Track04 04:33
	Track05 04:14
	Track06 04:25
	Track07 03:41
Summary	
Selected Track 0	
Selected Time 00:00	
Start	Exit
Select all	Select none

Device USB/SD/オフ

メディアの接続の有/無が表示されます。
メディアの接続を行っていない場合、オフと表示され、リッピングを実施できません。

Cd Rip	
Options	Track
Speed Normal	Track01 05:24
Bitrate 128Kbps	Track02 05:44
Create id3 Yes	Track03 04:04
Device USB	Track04 04:33
	Track05 04:14
	Track06 04:25
	Track07 03:41
Summary	
Selected Track 0	
Selected Time 00:00	
Start	Exit
Select all	Select none

メディアを接続してから、再度実施してください。

USBメモリー /SD カード (リッピングしたデータ収納先) を選択し

● トラックを選択

Cd Rip			
Options		Track	
Speed	Normal	Track01	05:24
Bitrate	128Kbps	Track02	05:44
Create id3	Yes	Track03	04:04
Device	USB	Track04	04:33
		Track05	04:14
Summary		▼ Track06	04:25
Selected Track	1	Track07	03:41
Selected Time	04:25		▼
Start	Exit	Select all	Select none

上、下方向ボタンでトラックを選択し、決定ボタンで決定します。

左の画面が表示されます。

● リッピング開始

Cd Rip			
Options		Track	
Speed	Normal	Track01	05:24
Bitrate	128Kbps	Track02	05:44
Create id3	Yes	Track03	04:04
Device	USB	Track04	04:33
		Track05	04:14
Summary		▼ Track06	04:25
Selected Track	1	Track07	03:41
Selected Time	04:25		▼
Start	Exit	Select all	Select none

環境設定とトラックを選択完了し、カーソルを「Start」ボタンに移動し、決定ボタンでリッピングを開始します。

● リッピング実行中

Cd Rip	
Ripping	Selected Track
TrackProgress [Progress Bar]	Track06 2%
Total Progress [Progress Bar]	
Cancel	
Summary	
New Ripping Track	01/01

リッピング実行中は、左の画面が表示されます。リッピング速度がノーマル状態を設定時は音声が出力されます。高速状態を設定時は音声が出力されません。

● リッピング終了

Cd Rip			
Options		Track	
Speed	Normal	Track01	05:24
Bitrate	128Kbps	Track02	05:44
Create id3	Yes	Track03	04:04
Device	USB	Track04	04:33
		Track05	04:14
Summary		▼ Track06	04:25
Selected Track	1	Track07	03:41
Selected Time	04:25		▼
Start	Exit	Select all	Select none

リッピング動作が完了すると、最初の設定画面に戻ります。方向ボタンでカーソルを「Exit」ボタンに移動し決定ボタンで終了します。

また、リモコンの「リッピング」ボタンを押すと終了します。

■ ご注意下さい

- リッピング動作中に、メモリーを抜いたり、電源をオフにして、CDデータの読み込むを止めると、MP3ファイルの破損だけでなくメモリーの故障につながります。大切なファイルデータも損失する可能性があります。

その他

故障かな？と思ったら

画面が白黒になる	<ul style="list-style-type: none">設定ボタンを押して、「画面設定」の「映像信号方式」が「自動」か「NTSC」になっているか確認してください。(→ 19 ページ)
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードの接続を確認してください。
再生できない / 画面に表示されない	<ul style="list-style-type: none">ディスクが中に入っているか確認してください。機器が適切に接続されていることを確認してください。ディスクの汚れ、傷を確認してください。テレビの電源、映像入力モードが正しく設定されているか確認してください。パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4 ページ)ディスクのリージョンコードが「ALL」または「2」か確認してください。結露が考えられます。電源を入れた状態で、数時間待ってから再生してください。本体が熱を持っている場合は、約30分程度時間をおいてからご使用ください。
画像が乱れる	<ul style="list-style-type: none">ディスクが汚れたり、傷ついていないか確認してください。汚れているときはディスクを清掃してください。本製品が、ビデオレコーダーやケーブルテレビチューナーなどの映像入力端子に接続されていないか確認してください。これらの機器に接続されているとコピーガードが働きの画像が乱れますので、本機をテレビに直接接続してください。
雑音や音声が乱れる	<ul style="list-style-type: none">機器が適切に接続されているか確認してください。近くに強い磁気を帯びたものがある場合は、離してお使いください。
画面に「ディスクエラー」と表示される	<ul style="list-style-type: none">本機に対応しないディスクを再生しようとしていないか確認してください。パソコンやレコーダーで記録した記録型のディスクは再生できない場合があります。(→ 4 ページ)ディスクの汚れ、傷を確認してください。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">本機やテレビのボリューム(VOLUME)、消音機能を確認してください。適切に接続されているか確認してください。一時停止、早送り/早戻し、スロー、ステップ機能実行中は音声が出力されません。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">電池の向きを確認してください。電池が消耗している場合は交換してください。本機とリモコンの間に障害物がある場合は、取り除いてください。

お手入れについて

- **レンズのクリーニング**
レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。このような場合はご自分でクリーニングしないでください。故障の原因となります。
- **結露**
結露が発生した場合、ディスクを本機に挿入すると、ピックアップレンズやディスクに水滴がつくことにより、ディスク信号が読み取れず正常に動作しないことがあります。本機はよく乾燥した状態でお使い下さい。結露が発生してしまった場合は、本体の電源を入れたまま、最低2時間は乾燥のために放置してください。
- **本体のお手入れ方法**
柔らかい布で乾拭きをしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて布に浸し、よく絞った後に本体を拭きます。その後、必ず乾いた布で再度本体を拭いてください。アルコールやシンナー等が付着すると、印刷や塗装がはげる場合がありますのでご注意ください。お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

製品の廃棄について

- 製品のご使用が終了し、製品を廃棄する場合は、燃えないゴミや資源ゴミ、粗大ゴミ、小型家電回収等各自自治体によって取り扱いが異なりますので、お住まいの自治体の指示に従ってください。

主な仕様

品名	HDMI端子搭載DVDプレーヤー
電源定格	AC100V 50/60Hz
消費電力	11W (最大)
最大外形寸法	約225X200X47mm(突起部を含まず)
本体質量	約830g
許容動作温度	5°C~35°C
許容動作湿度	75%以下 (結露がない場合)
映像信号方式	NTSC / PAL / 自動
映像端子	コンポジットビデオ映像出力端子 × 1
音声端子	音声出力端子 (アナログステレオ2ch)
HDMI出力端子	HDMI Ver1.3(デジタル)準拠
メディアスロット	1スロット(SD/MMC)
USB端子	1スロット
リージョンコード	2 (日本)
対応ディスク	DVD-Video DVD-R / DVD-RW (VRモード/CPRM再生対応) DVD+R / DVD+RW 音楽CD (CD規格準拠のものに限る) CD-R / CD-RW (音楽用CDフォーマットデータ、MP3ファイル形式、JPEG画像ファイル形式)
付属品	AVケーブル、取扱説明書*保証書、リモコン、単四型乾電池2本 (試供品) HDMIケーブル1本

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

長年ご使用の製品点検を

このような事はありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ・製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ・その他の異常・故障がある。 	ご使用を中止	<ul style="list-style-type: none"> ・故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグを抜いて、必ず販売店にご相談下さい。
----------------	--	--------	---

お問い合わせ

製品に関するお問い合わせ、不具合、不明点、技術的なご質問はこちらまでご相談ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法は弊社ウェブサイトをご活用ください

<http://www.dainichi-denshi.jp/>

ご相談窓口

サポートセンター 045-633-1136

受付時間

月～金 10:30～17:00 (12:00～13:00を除く)

定休日

土・日・祝日
GW、夏季休暇、年末年始、弊社規定休業日(弊社ウェブサイトにて都度ご案内)

Eメールでも受け付けております

support@dnd-ltd.co.jp

※メールには、必ず製品名、お名前をご記載ください。また、迷惑メールフィルターを使用しておりますので、件名が無いメールなど、メールによっては迷惑メール扱いになる場合がありますので、ご注意ください。メールを送られてから7営業日以上連絡がない場合には、再度、ご連絡をいただくか、お電話にてお問い合わせください。

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載・転用することを固くお断りします。
- ・ 本書の内容に関して将来予告なく変更する場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名・商品名は各社の商標、または登録商標です。
- ・ 商品のデザイン・仕様・外観・価格は予告なく変更する場合があります。
- ・ 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万が一、誤りや記載漏れなど、お気付きの点がございましたら、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ・ 乱丁・落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ・ サポートセンターでのお客様との通話内容は、適切および迅速な、回答とサポートサービス向上のため、録音させて頂く場合があります。

本製品は日本国内専用に製造・販売されております。日本国外での使用及びトラブルにつきましては保証いたしかねます。

This Product is designed use in Japan and cannot be used and trouble in any other countries.
Printed in China.

保証規定

【保証期間について】

- ◆ 下記保証範囲に基づき、保証書に記載されている期間の保証とさせていただきます。
なお、業務使用、もしくは弊社の判断において業務使用と認められた場合の保証期間は6ヶ月間とします。
- ◆ 保証期間が過ぎたものは、有料修理となります。
- ◆ 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。
- ◆ 保証期間経過後の修理は、保守部品の在庫状況により、修理をお断りすることがありますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ 保証期間内でも、次のような場合は、有料修理となります。
 - (1) 本保証書のご提示がない場合。
 - (2) 保証書の所定事項(お客様名、ご購入店名等)のみ記入、または字句を書き換えられた場合。
 - (3) 火災、自然災害(地震、水害、落雷、塩害、ガス害、その他の天変地異等)、公害や異常電圧による故障および損傷。
 - (4) お買い上げの後の輸送、移動時の落下、衝撃などが原因で発生した故障および損傷。
 - (5) 水、泥、砂などのかぶりか原因で発生した故障および損傷。
 - (6) お取り扱い上の不注意、誤用、接続している他の機器に起因して発生した故障および損傷。
 - (7) 保管上の不備(高温多湿の場所など)や手入れの不備による故障。
 - (8) 不当な改造、調整、部品交換、誤接続による故障および損傷。
 - (9) その他、弊社の判断において、有料修理と認められる場合。

【保証範囲について】

本保証書は、日本国内において有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- ◆ なお次の事項に該当するものは、保証の責任を負わないものとします。
 - (1) 本製品の使用により発生した、本製品以外のお客様の財産等の損失、破損。
 - (2) 本製品を使用したことによって発生した、あらゆる結果やその他への影響、異常。
 - (3) お客様の改造による故障。
 - (4) 個別の記録メディアに対する相性問題、動作不良等。

ダイニチ電子株式会社

〒222-0011

神奈川県相模原市中央区東淵野辺 1-10-5

TEL(045)633-1136